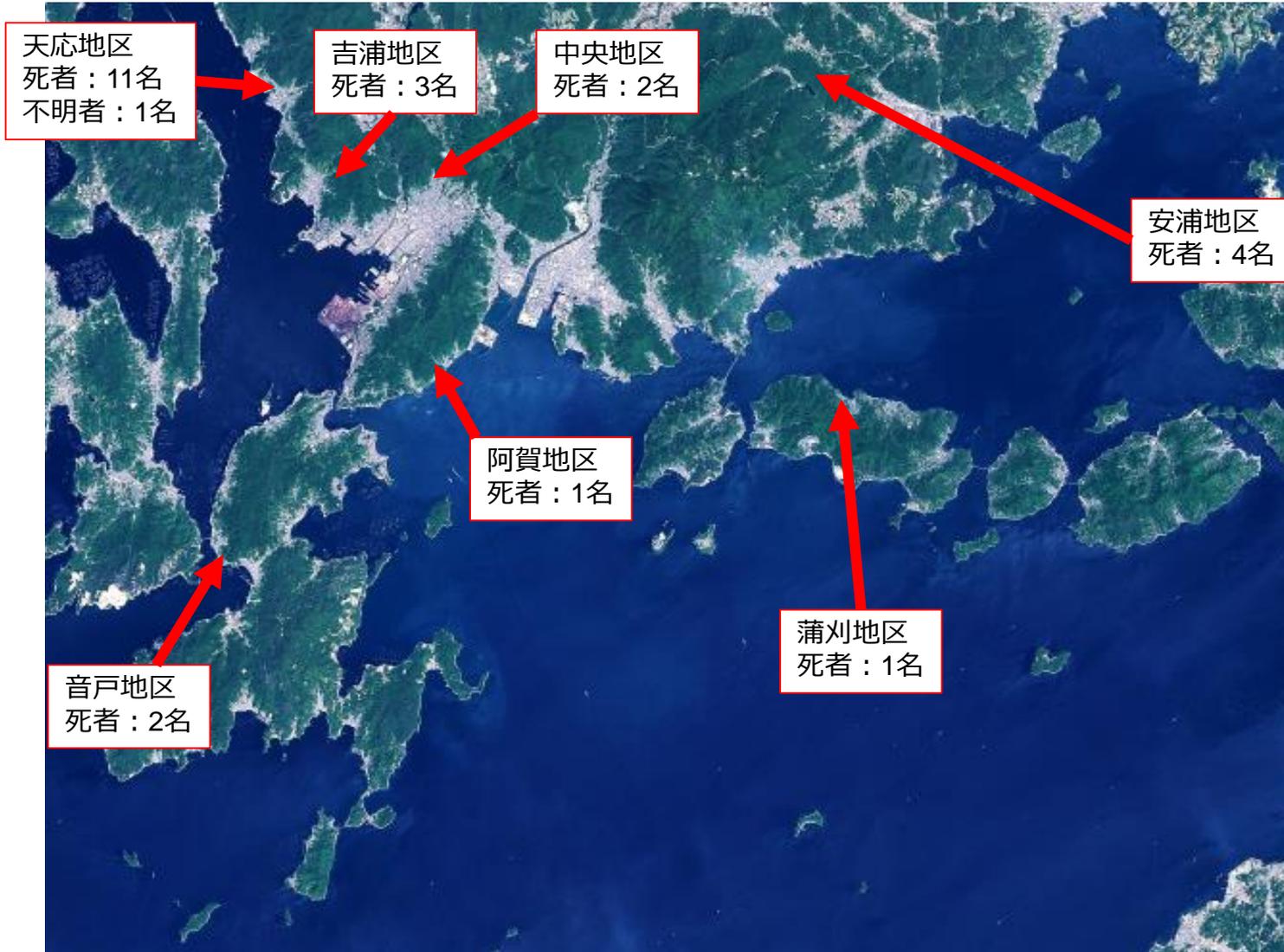


呉市の被害分布

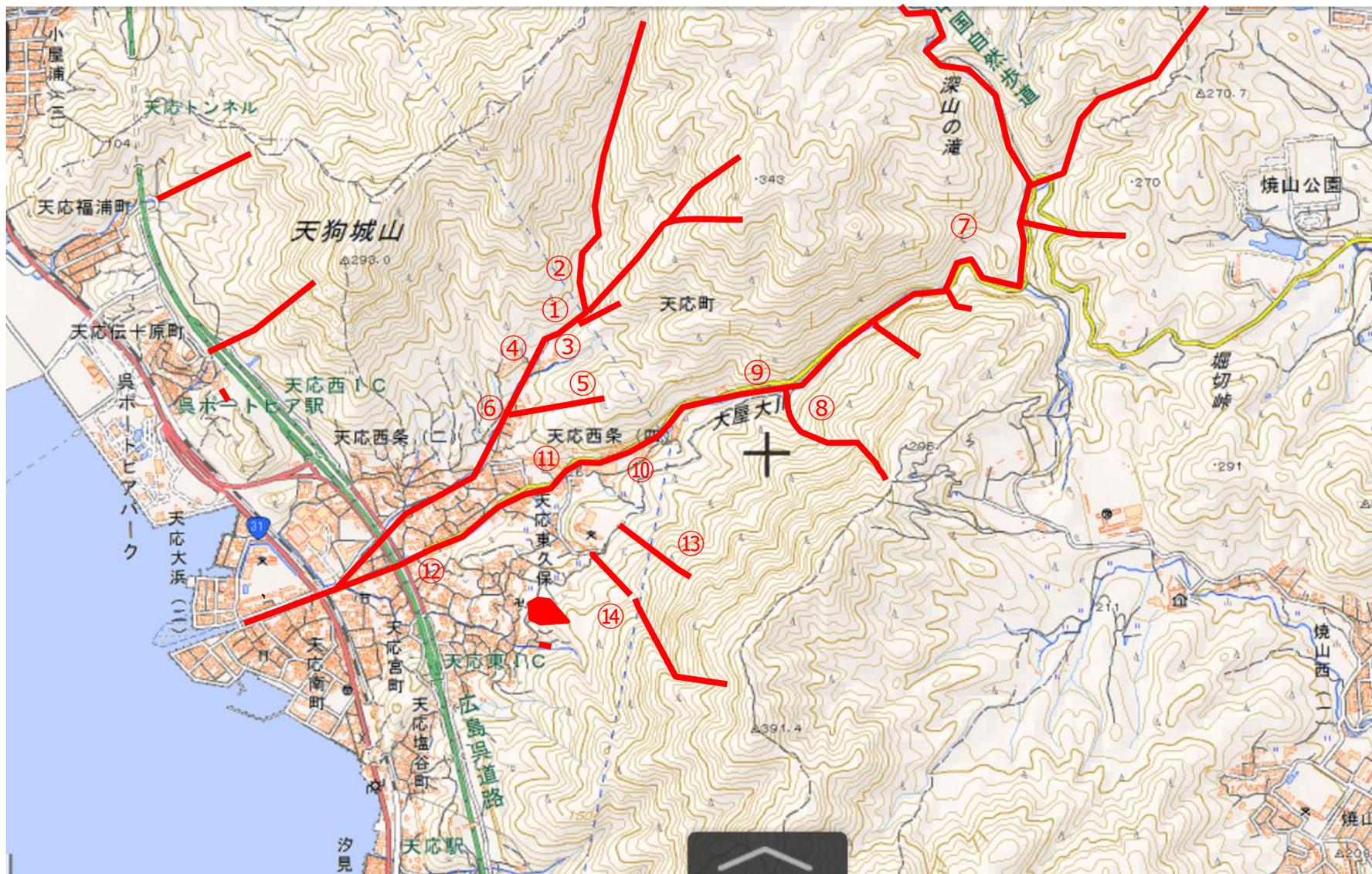


国土地理院地図（電子国土Web）に加筆



天応地区（調査日7/8, 10, 12-14, 24）

調査者：呉高専加納誠二、山岡俊一、三村陽一、鹿瀬敏希、山本直希、井村南都



国土地理院地図（電子国土Web）に加筆



天応西条（背戸ノ川支川上流）



①上流にあるため池のそばを土石流が通過（7/13撮影）



②ため池より上流に砂防堰堤がある（7/13撮



③ため池横の砂防堰堤を越えて流下している（7/13撮影）



④下流を臨む。住宅地に流木や巨礫が流下している（7/14撮影）

天応西条（背戸ノ川支川）



⑤上流を臨む。ほぼ直線的で幅は約15~20m（7/12撮影）



⑤土石流の出口は約10~15m（7/12撮影）



⑥ほぼ直線的な土石流が左岸側で発生し、家屋を押し流した（7/12撮影）



天応西条（大屋大川上流天応中学校入口より上流）



⑦深山の滝の上流から土石流が流下（7/13撮影）



⑧左岸から土石流が流下し道路を押し流した（7/13撮影）



⑨道路が削られ、下水管が破断した（7/24撮影）



⑩工場にかかる橋が落橋し、河川を堰き止めている（7/24撮影）

天応西条（大屋大川天応中学校入口より下流）



⑪河川に土砂が堆積し道路を流下している（7/8撮影）



⑪天応中学校入口の橋が土砂で埋まっている（7/8撮影）



⑫広島呉道路高架付近では1階がほぼ水没している（7/8撮影）



⑫広島呉道路高架付近から上流を撮影（7/8撮影）

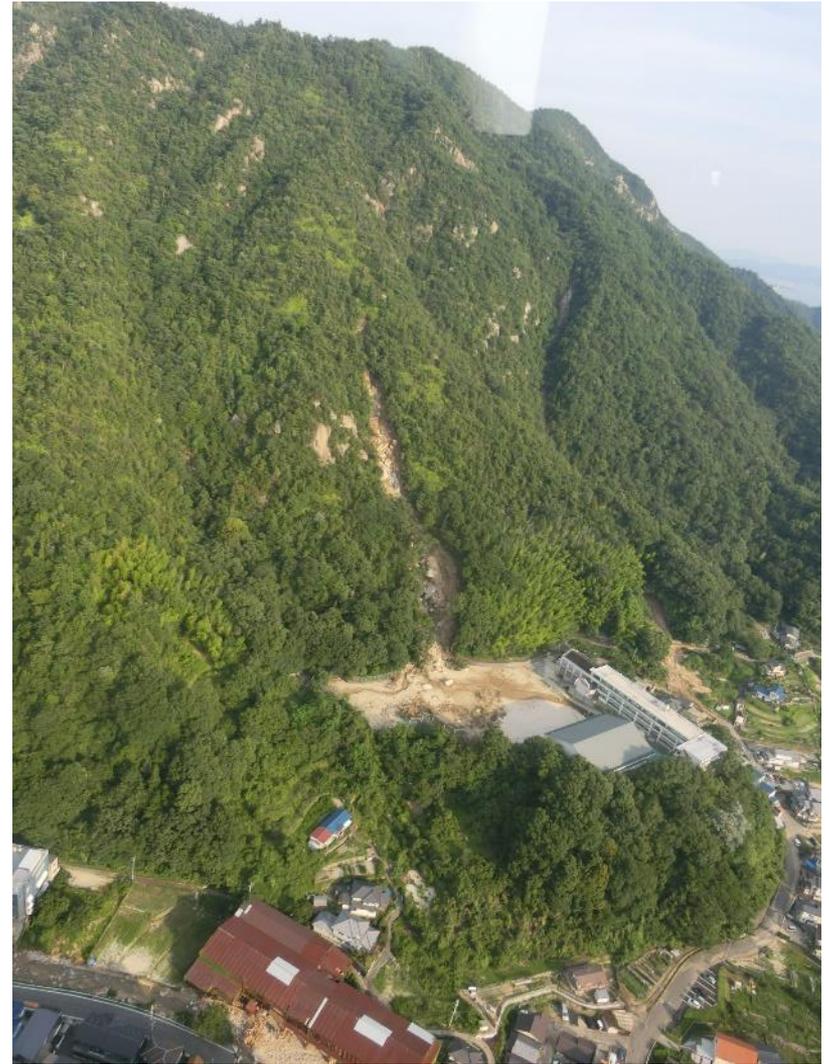
天応東久保二丁目（天応中学校に流入した土石流）



⑬溪流中間点あたりから上流を撮影（7/10撮影）



⑬溪流にはまだ不安定な巨礫が点在する（7/10撮影）



⑬ヘリより撮影。L字型の建物が天応中学校。右側にも土石流が見られる（7/13撮影）